

① 農業の振興

拡充 世界農業遺産認定推進事業費

294万円

(前年度)

298万円

担当課 地方創生推進課

電話番号 74-8011

1. 本市の現状と課題

本市には、約400年の歴史がある定置網漁業とそこから育まれた伝統文化をはじめとする人々の営みがあります。これを、氷見農業遺産推進協議会が中心となり、令和2年度での日本農業遺産の認定、世界農業遺産申請への承認を目指しています。

2. 令和2年度事業の内容

日本農業遺産の認定、世界農業遺産申請への承認に向け、農業遺産に精通している専門家の方から助言、地元実施体(漁業者、農業者、林業者)と意見交換し、①農業遺産申請・認定事務の推進、②多様な主体の参画する取組の推進、③市民の機運醸成などを関係部署と連携を図りながら推進します。

3. 目標値または実施により求める効果

次世代に継承すべき地域資源の保全や活用が図られ、また、地域に住んでいる人々が地域に愛着と誇りを持って暮らすことができる環境が整備されます。それらの活用を図り、農林水産物のブランド化や観光の振興などにより地域経済の活性化を図ります。



越中式定置網

(単位:万円)

財源	基金繰入金	290	経費内訳	負担金	294
	市の負担	4			

継続 中山間地域等直接支払事業費

8,647万円

(前年度)

7,314万円

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

1. 本市の現状と課題

中山間地域の水田は、区画が小さく不整形なこと、管理する畦はん面積が大きいことなど、営農条件が悪いことに加え、鳥獣害の被害対策が必要なことから、労働量やコストが大きく、耕作放棄地が増加しています。中山間地域の農業生産を維持し、農地の持つ水源涵養機能などを保全する必要があります。

2. 令和2年度事業の内容

第5期(令和2年度~6年度)中山間地域等直接支払事業がスタートします。中山間地域における農地が持つ多面的機能の低下を防ぎ、農業生産を維持するため、集落協定に基づく水路の清掃や、農道の舗装、水路整備などの農業生産活動を支援します。

3. 目標値または実施により求める効果

農地や農村が持つ多面的機能が維持されます。





保全される中山間の棚田

(単位:万円)

財源	県の負担	6,464	経費内訳	補助及び交付金	8,563
	市の負担	2,183		委託料	49
				その他	35

① 農業の振興

継続	地域一斉防除事業費	227万円
		(前年度) 227万円
担当課	農林畜産課	電話番号 74-8086
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>近年は、ブランド米や特別栽培米など、品質の高い米が消費者から好まれる傾向にあり、米の産地間競争が激化しております。本市では、生産者と関係機関が一体となった生産管理により、うるち米の一等米比率が90%を超えるよう取り組みます。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>ひみ米ブランドの確立を推進するため、カメムシ類、いもち病等の発生を抑える氷見市全域での地域一斉共同防除活動を支援します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>一等米の比率が高い、良質米の安定生産により、「売れる氷見米」、「美味しい氷見米」を作ります。</p>		
(単位: 万円)		
財源	市の負担 227	経費内訳 補助及び交付金 227
		 <p>ヘリコプターによる一斉防除</p>

継続	水田農業経営確立対策事業費	875万円
		(前年度) 950万円
担当課	農林畜産課	電話番号 74-8086
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>氷見市の農地の9割近くは水田が占めておりますが、稲作を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化や担い手の不足、米価の低迷など、厳しい状況にあります。このため、米づくりだけでなくハトムギなども組み合わせた収益性の高い農業をこれからも推進する必要があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>水田の持つ機能を最大限に活かすため「高品質で安全・安心な売れる美味しいひみ米づくり」をはじめハトムギや白ネギなどの地域振興作物の生産拡大と飼料作物等の生産を支援するとともに、水田農業に係る経営所得安定対策の円滑な実施に努めます。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>水田を活用した農業を推進することにより、農業経営の安定化と農村景観の保持を図るとともに、ハトムギなどの地域の特色ある農業を推進します。</p>		
(単位: 万円)		
財源	県の負担 875	経費内訳 補助及び交付金 875
		 <p>9割を占める水田</p>

① 農業の振興

継続 人・農地プラン作成事業費

100万円

(前年度)

20万円

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

1. 本市の現状と課題

農業を取り巻く環境が、農業従事者の高齢化や担い手の不足により厳しい状況にあるため、農業、農村を守るために、これからの地域の農業の担い手や農業のあり方をまとめた「人・農地プラン」を地域の方々や関係機関により作成しました。

2. 令和2年度事業の内容

農業や地域の状況が変化するなか、地域で中心となる農業経営体や営農規模、農地の集約化などについてアンケート調査をもとに、地域での話し合いにより検討・調整を行い、地域の「人・農地プラン」を見直します。

3. 目標値または実施により求める効果

地域の農業のあり方などを共有し、地域の農業を守ります。



地域での話し合い

(単位: 万円)

財源	県の負担	97	経費内訳	報酬	30
	市の負担	3		消耗品費	23
				その他	47

継続 多面的機能支払事業費

1億5,138万円

(前年度)

1億3,923万円

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

1. 本市の現状と課題

農業・農村は、国土保全、水源涵養、良好な景観の形成などの多面的な機能を持っています。しかし、近年は、離農者や人口減少、高齢化などにより、地域の共同作業によって支えられてきた農業・農村の機能を維持することが難しくなりつつあります。

2. 令和2年度事業の内容

農業の持続的な発展と農村が持つ多面的機能を発揮するため、地域共同による農地・農業用水などの基礎的な保全活動や老朽化が進む農業用排水路などを長寿命化するための補修・更新などの取り組みを支援します。

3. 目標値または実施により求める効果

農地や農村が持つ多面的機能が維持されます。



水路の保全活動

(単位: 万円)

財源	県の負担	11,366	経費内訳	補助及び交付金	15,088
	市の負担	3,772		消耗品費	26
				その他	24

① 農業の振興

継続	環境保全型農業直接支払事業費	348万円
		(前年度) 448万円
担当課	農林畜産課	電話番号 74-8086


1. 本市の現状と課題
 農業分野においても、地球温暖化防止や生物多様性の保全など環境保全に配慮した営農活動の推進が求められています。

2. 令和2年度事業の内容
 エコファーマーの認定を受けている農業者や集落営農組織などが、化学肥料と化学合成農薬の5割以上の低減と、冬期湛水など環境保全に効果のある活動を合わせて行った場合に支援をします。

3. 目標値または実施により求める効果
 農業生産活動を行いながら環境の改善にも取り組むことで、豊かな自然に恵まれた地域をつくります。

(単位: 万円)		
財源	県の負担	263
	市の負担	85

経費内訳	補助及び交付金	339
	通信運搬費	4
	その他	5



堆肥の散布

新規	耕作放棄地対策事業費	70万円
		(前年度) -
担当課	農林畜産課	電話番号 74-8086


1. 本市の現状と課題
 農業従事者の高齢化や担い手不足などから農業従事者は年々減少傾向にあり、その結果、耕作放棄地が増加しています。良好な景観や洪水の防止など、農地が持つ多面的機能を維持するためには、耕作放棄地の解消への取り組みが必要です。

2. 令和2年度事業の内容
 営農組合などが取り組む耕作放棄地の復元・保全管理などの活動を支援します。

3. 目標値または実施により求める効果
 耕作放棄地を復元・保全することで、農地の持つ機能が回復するだけでなく、美観も保全されます。


(単位: 万円)		
財源	県の負担	35
	市の負担	35


経費内訳	補助及び交付金	70
------	---------	----



耕作放棄地

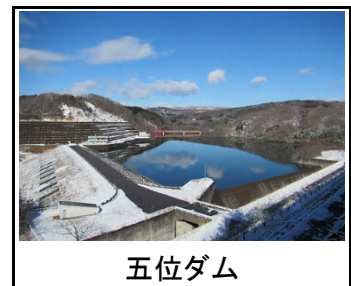
① 農業の振興

新規	棚田保全活動支援事業費	25万円					
		(前年度) -					
担当課	農林畜産課	電話番号 74-8086					
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>棚田地域の農地等の有する多面的機能の発揮は、中山間地域の農業の展開及び活性化を図る上で重要であることから、棚田地域の農地の保全・利活用に係る活動をさらに支援する必要があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>棚田地域で実施されるハトムギオーナー活動に対して支援します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>ハトムギオーナー活動を通じて棚田の保全や関係人口が創出され、地域の活性化が図られます。</p>							
(単位: 万円)							
財源	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">県の負担</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">25</td> </tr> </table>	県の負担	25	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">経費内訳</td> <td style="padding: 5px;">委託料</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">25</td> </tr> </table>	経費内訳	委託料	25
県の負担	25						
経費内訳	委託料	25					
		 <p style="text-align: center; font-size: small;">ハトムギオーナー活動</p>					

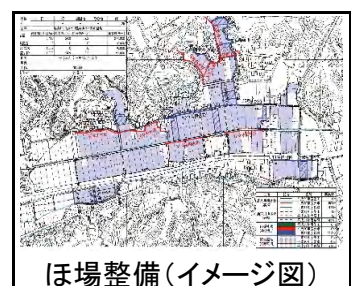
継続	棚田オーナー事業費	50万円								
		(前年度) 35万円								
担当課	農林畜産課	電話番号 74-8086								
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>中山間地を多く抱える氷見市には多くの棚田があります。この棚田は、農作物の生産だけでなく水源涵養や生物多様性など様々な働きを持っていますが、農業従事者の高齢化や離農により、耕作放棄地が増えていることから、棚田の保全に取り組む必要があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>長坂地区にある棚田において、首都圏などの方が田植えや稲刈り、はさ掛けを体験する棚田オーナー事業を通して、農業や中山間の自然に触れ、棚田への理解や保全を図ります。</p> <p>また、棚田カードの増刷を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>棚田の保全と都市住民との交流を推進します。</p>										
(単位: 万円)										
財源	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">市の負担</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">50</td> </tr> </table>	市の負担	50	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">経費内訳</td> <td style="padding: 5px;">補助及び交付金</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">35</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 5px;">印刷製本費</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">15</td> </tr> </table>	経費内訳	補助及び交付金	35		印刷製本費	15
市の負担	50									
経費内訳	補助及び交付金	35								
	印刷製本費	15								
		 <p style="text-align: center; font-size: small;">棚田から望む立山連峰</p>								

① 農業の振興


継続	国営・附带県営かんがい排水事業維持管理費補助金	1,585万円
		(前年度) 1,646万円
担当課	ふるさと整備課	電話番号 30-7011
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>国営総合かんがい排水事業で造成された施設の適切な維持保全と長寿命化を図るとともに、維持管理コストを縮減することが必要です。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>五位ダム、桑院ダム、導水路、余川川頭首工を適切に管理するための体制整備・強化を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>農業・農村の発展と農業経営の継続性の確立を図ります。</p>		
(単位: 万円)		
財源	市の負担 1,585	経費内訳 補助及び交付金 1,585




拡充	県営ほ場整備事業費負担金	3,586万円
		(前年度) 2,640万円
担当課	ふるさと整備課	電話番号 30-7011
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>用排水路や暗渠排水等の老朽化や小区画ほ場による効率の悪さなど、営農活動に支障を来す現状であり、農業生産基盤整備による生産性と営農効率の向上、担い手の育成等、効率的かつ安定的に農業生産を担う構造を確立する必要があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>北八代地区(継続)、城飯久保地区(継続)、下田子・上泉地区(継続)、中村地区(新規)のほ場整備を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>農業の集団化、担い手の育成・確保を通じて、土地利用型農業のコスト低減、経営体質の強化を図ります。</p>		
(単位: 万円)		
財源	市債 3,260 市の負担 326	経費内訳 負担金 3,586



② 林業の振興

継続	森林組合育成強化事業費		146万円		
			(前年度) 181万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8097		
1. 本市の現状と課題					
富山県西部森林組合は、県西部唯一の森林組合であり、木材価格の低迷等により森林所有者や民間事業者による適切な森林整備が行われない中、森林施業の集約化を図り、生産性向上・低コスト化に取り組みながら市内一円で森林整備を行っています。今後もより一層の生産性の向上、低コスト化を図っていく必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
高性能林業機械の導入や担い手対策に支援し、森林組合の基盤強化を図ります。					
3. 目標値または実施により求める効果					
森林組合の基盤強化が図られるとともに、生産性向上や低コストにより森林整備が進められることにより、森林の持つ公益的機能の維持増進のほか、林業の成長産業化を図ります。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	146	経費内訳	負担金	102
					補助及び交付金
					
高性能林業機械フォワーダ					

継続	流域森林総合整備事業費		94万円		
			(前年度) 136万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8097		
1. 本市の現状と課題					
木材価格の低迷などにより、林家の造林意欲が低く、下刈など造林作業が行われていない森林が多くあります。そのため、総合的かつ効率的な造林事業を推進していく必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
富山県西部森林組合が行う再造林、下刈、枝打ち、侵入竹林除去等の森林施業に対し補助します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
造林、下刈、枝打ち、侵入竹林除去等の森林施業の支援により、林業生産基盤の整備と林家の造林意欲の向上を図り、適切な森林施業により、森林の公益的機能が保全されます。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	94	経費内訳	補助及び交付金	94
					
冬季の枝打ち					

② 林業の振興

継続	森林整備地域活動支援事業費		322万円		
			(前年度) 482万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8097		
1. 本市の現状と課題					
本市の人工林は、戦後の拡大造林で植林され、その多くは伐採期を迎えているものの、木材価格の低迷などから、必要な手入れがされていないものが多くあります。そのため、計画的な森林整備を行う必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
森林整備と資源の活用を推進するため、森林を集約化し、効率的な森林施業や路網整備を実施する森林経営計画の作成を支援します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
適切な森林施業により、森林の公益的機能が保全されます。					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	243	経費内訳	補助及び交付金	314
	市の負担	79		消耗品費	6
				燃料費	2



継続	氷見産材活用促進事業費		90万円		
			(前年度) 90万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8097		
1. 本市の現状と課題					
市内の森林の人工林の多くは伐採期を迎えており、市内において木材の利活用推進を図っていく必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
市内において住宅等の新築や増改築する際に、木造化や木造内装化への氷見産木材の使用に対し、その経費の一部に助成するほか、薪ストーブやペレットストーブの設置経費の一部を補助します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
木質バイオマスの活用により、地球温暖化対策を推進するとともに、伐採期を迎えた森林資源の有効活用により森林整備を促進し、森林の保全と公益的機能の維持を図ります。					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	90	経費内訳	補助及び交付金	90



② 林業の振興

継続	高齡級人工林機能強化事業費	425万円			
		(前年度) 425万円			
担当課 農林畜産課		電話番号 74-8097			
1. 本市の現状と課題					
高齡級(13齡級:65年生以上)の人工林を主伐する際、低質材を林内に放置すると、その後の植栽に支障を及ぼすほか、豪雨時に林外へ流出することによる災害の恐れがあります。					
2. 令和2年度事業の内容					
13齡級以上の人工林を主伐する際、低質材(C材以下)を林内から林道の縁まで集材する経費の一部を支援します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
低質材が林内に取り残されることがなくなり、災害の防止が図られるとともに伐採後の新たな植栽が容易となり、高齡級の伐採が促進され、伐採後の植栽、保育など森林の循環を促し森林の保全を図ります。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	212	経費内訳	補助及び交付金	425
	市の負担	213			




集材された低質材


拡充	水と緑の森づくり事業費	2,996万円			
		(前年度) 2,344万円			
担当課 農林畜産課		電話番号 74-8097			
1. 本市の現状と課題					
私たちの身近にある里山をはじめとした森林は、さまざまな恩恵をもたらす貴重な財産です。これを森林所有者のみならず県民全体で守り育てて行くため創設された「水と緑の森づくり税」を活用した取り組みを推進します。					
2. 令和2年度事業の内容					
放置竹林や広葉樹の整備のほか、生活に密着した里山などを地域住民によって整備する活動への支援や、優良無花粉スギの植林などを行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
里山の整備や地域住民による里山整備活動を支援することで、市民が緑に親しみ、森への愛着を高めるとともに、森林の持つ公益的機能を高めます。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	2,996	経費内訳	委託料	2,773
				補助及び交付金	200
				その他	23



竹林の伐採整備作業

② 林業の振興

継続	竹対策事業費	178万円	(前年度)	224万円	
	担当課	農林畜産課	電話番号	74-8097	
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>放置竹林・侵入竹林を効果的に駆除し広葉樹林等へ誘導するため、過去に薬剤注入を行い、林種転換が図られていない竹林の整備を行います。</p>					
<p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>過去に薬剤注入を試み、林種転換が進んでいない場所での枯死した竹の伐採、集積、植栽を行い、林種転換を促進します。</p>					
<p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>自然環境の保全と美しい景観づくりに努めます。</p>					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	178	経費内訳	委託料	178
				 <p>枯死した竹</p>	

新規	ひみ里山杉振興推進事業費	250万円	(前年度)	-	
	担当課	農林畜産課	電話番号	74-8097	
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>氷見市は良質なスギの人工林を豊富に有していますが、担い手不足により伐採が進まず、市産材の搬出量が停滞しています。また、森林環境譲与税の創設により首都圏の木材利用の機運が高まる中、市産材の販路開拓が課題となっています。</p>					
<p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>森林環境譲与税を活用し、林業研修会・機械講習会の開催、首都圏での氷見産材PR等を実施し、林業における「つくり手」「つなぎ手」を育成し、市内及び首都圏等を含めた市外の森林関係人口の掘り起こしを図ります。</p>					
<p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>森林関係人口を増すことにより、市産材の搬出量拡大を図ります。</p>					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	250	経費内訳	委託料	250
				 <p>首都圏展示会でのPR</p>	

② 林業の振興

拡充	県単林道改良事業費	3,005万円	
		(前年度)	1,501万円
担当課	ふるさと整備課	電話番号	30-7011
1. 本市の現状と課題			
林道118路線について、規模の大きな災害箇所は、災害復旧事業により対応しますが、災害復旧事業に該当しない小規模な法面崩壊や路肩欠損について、予防保全の観点から、本事業により小規模な災害箇所の復旧を進める必要があります。			
2. 令和2年度事業の内容			
幸原線、能越2号線、天狗岳線、岩瀬老谷線の4路線について、路肩補修や法面復旧を行います。			
3. 目標値または実施により求める効果			
被災箇所の復旧により車両通行の安全を確保するとともに、林業生産の向上を図ります。			
		(単位:万円)	
財源	県の負担	1,500	経費内訳
	市債	1,500	
	市の負担	5	
	工事請負費	3,001	
	消耗品費	4	



継続	木育推進事業費	1,236万円	
		(前年度)	2,560万円
担当課	花みどり推進室	電話番号	91-7117
1. 本市の現状と課題			
木育は木を切り口として氷見市の資源である「自然」を好きな人を育てる取り組みで、子育て環境の充実や郷土愛の育成、そして林業の振興を目指すものです。この取り組みによる効果を持続可能なものとするため木育の拠点及び推進組織を設立することが課題となっています。			
2. 令和2年度事業の内容			
誕生祝い品事業、木育推進組織構築のための外部人材招聘などを実施します。			
3. 目標値または実施により求める効果			
氷見市海浜植物園に、自然体験プログラムや氷見産材を使った商品開発、販売を促進する木育推進組織の構築を目指します。			
		(単位:万円)	
財源	国の負担	500	経費内訳
	基金繰入金	730	
	市の負担	6	
	補助及び交付金	1,030	
	消耗品費	171	
	その他	35	



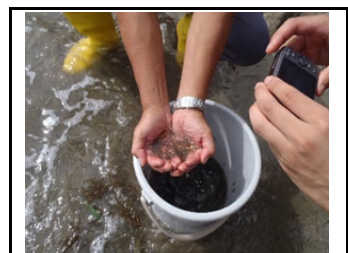
③ 水産業の振興

継続	漁村活性化推進事業費	59万円			
		(前年度) 27万円			
担当課 水産振興課		電話番号 74-8102			
1. 本市の現状と課題					
『水産白書』によれば日本の一人当たりの水産物消費量は年々減少しているとされ、市民の皆さまに、氷見の魚をより一層食べていただけるよう、今後も様々な取り組みを進める必要があります。また、漁業や豊かな海の恵みに対する理解を深めていただくことで、「魚のまち」氷見への愛着も深めていただきたいと思います。					
2. 令和2年度事業の内容					
後継者育成漁業体験教室(高校生)や小・中学校定置網見学を実施し、氷見の漁業への理解を深める一方、小学生とその保護者を対象とした加工体験教室や、春と秋に1度ずつ実施するさばき方教室を通じて、地元のキトキトの魚を調理し、食べる機会をつくり、氷見の魚の需要の底上げを行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
漁業後継者の育成と氷見の魚の需要の底上げを図り、漁村地域の活性化を図ります。					
氷見の漁業や魚のおいしさへの理解を深め、「魚のまち」氷見への愛着を深めます。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	14	経費内訳	委託料	46
	諸収入	4		使用料及び賃借料	13
	市の負担	41			



親子で定置網漁を見学する様子

継続	海の種づくり推進事業費	15万円			
		(前年度) 15万円			
担当課 水産振興課		電話番号 74-8102			
1. 本市の現状と課題					
氷見の漁獲量は年間14,000トン前後で推移しており、今後も漁獲量を確保するため、安定的な海の資源管理が求められています。地先で育つ種苗を継続的に放流することで、資源量の減少を回避し、海域の漁獲量の維持・向上を図ります。					
2. 令和2年度事業の内容					
クルマエビの種苗を放流します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
海洋資源の維持増大を図るとともに、種苗が育つ生息場の藻場を管理・改善を行います。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	15	経費内訳	消耗品費	15



稚エビの放流の様子

③ 水産業の振興

拡充	氷見のおさかな給食推進事業費	160万円	
		(前年度)	202万円
担当課	水産振興課	電話番号	74-8102


1. 本市の現状と課題
 子どもの魚食離れが進み、魚価も低迷しているため、氷見のおいしい魚に対する好奇心や味覚を形成しなければなりません。また、給食は、日常生活における食事について正しい理解と栄養のバランスのとれた食事によって、健康の増進を図りがあります。

2. 令和2年度事業の内容
 地元水産物を給食に導入する体制づくりを行います。本年度からクロダイの導入を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果
 地元水産物を給食に導入する体制づくりを行い、魚食の普及に努めます。

(単位: 万円)

財源	国の負担	80	経費内訳	委託料	160
	市の負担	80			



お魚給食の会食会

継続	氷見の魚を知ろう事業費	48万円	
		(前年度)	41万円
担当課	水産振興課	電話番号	74-8102


1. 本市の現状と課題
 氷見でとれる魚の代表であるブリの美味しさを知ることで、氷見の魚への関心を高めてもらいます。実際にブリがさばかれる様子を見る機会が少ないこともあり、魚食への親しみを高める取組みが求められます。

2. 令和2年度事業の内容
 市内小学校を訪問し、6年生を中心に30人から100人の児童を対象にブリのさばき方を披露するとともにブリの刺身を味わってもらいます。

3. 目標値または実施により求める効果
 子供のうちから氷見のブリの味を知ることで、魚を食べることへの興味を高め、若年層からの地産池消の推進を図ります。

(単位: 万円)

財源	国の負担	24	経費内訳	委託料	48
	市の負担	24			



小学生の前で鯛をさばく様子

③ 水産業の振興

継続	水産多面的機能発揮対策事業費	183万円			
		(前年度) 202万円			
担当課	水産振興課	電話番号 74-8102			
1. 本市の現状と課題					
<p>水産業、漁村は古くから、安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加え、国境警備・海難救助による生命・財産の保全、保健休養、交流、教育の場の提供など、多面的機能を持っています。このため、氷見市沿岸の地域資源の維持・回復、漁村文化の継承を図る取組みを進めていきます。</p>					
2. 令和2年度事業の内容					
<p>藻場の保全、種苗放流(クロダイ、ヒラメ)、漂流・漂着物、堆積物の処理、海難救助訓練等を行います。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>水産業の再生、漁村の活性化を図ります。</p>					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	37	経費内訳	負担金	146
	市の負担	146		報酬	19
				その他	18



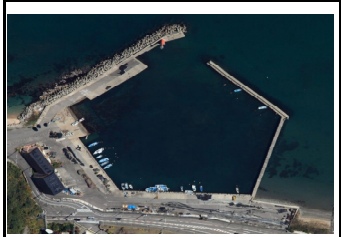
漂流・漂着物の除去

継続	漁港関連施設管理事業費	5,344万円			
		(前年度) 1,847万円			
担当課	水産振興課・都市計画課	電話番号 30-7055			
1. 本市の現状と課題					
<p>市内には、県営漁港の氷見漁港をはじめ、阿尾、藪田、宇波、大境、女良の5つの市営漁港があります。漁港と漁港区域には環境緑地や比美乃江公園が設けられており、適正な管理が必要です。</p>					
2. 令和2年度事業の内容					
<p>漁港、漁港海岸及び公園の樹木や芝生の管理、照明設備やトイレの管理を行います。また、漁港施設及び公園の補修工事や修繕を行っていきます。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>漁業者が安全に使用できるよう努めていくほか、施設を利用される方が心地よく使っていただけるよう適切な管理を行っていきます。</p>					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	1,279	経費内訳	委託料	3,772
	使用料など	95		工事請負費	587
	市の負担	3,970		その他	985



女良漁港

③ 水産業の振興

継続	水産物供給基盤機能保全事業費		2,050万円		
			(前年度) 5,250万円		
担当課	水産振興課	電話番号	30-7055		
1. 本市の現状と課題					
<p>市営漁港の多くは、年々老朽化しており、堤防に陥没が発生したり、漁港内部に土砂が堆積した結果、漁船の運航等に支障を来しています。そのため、国県の補助金を活用し、施設の補修などの長寿命化を図っていく必要があります。</p>					
2. 令和2年度事業の内容					
<p>藪田漁港(藪田地区)において、防波堤背後の吸出し対策及び物揚場の舗装打換えを行います。 女良漁港においては、物揚場補修測量設計を行います。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>漁港ごとの機能保全計画に基づき、適切な時期に、適切な補修を実施することにより、漁港施設の長寿命化と更新コストの平準化・縮減を図ります。</p>					
(単位:万円)					
財源	県の負担	1,350	経費内訳	工事請負費	1,400
	市債など	693		委託料	400
	市の負担	7		その他	250
					
藪田漁港(藪田地区)					

④ 地域産業・中小企業の支援

拡充	大学連携推進事業費	1,236万円			
		(前年度) 2,025万円			
担当課	地方創生推進課	電話番号 74-8011			
1. 本市の現状と課題					
<p>社会環境の変化が早く、それに伴う地域課題が複雑化・高度化しているなか、早期に対応が求められている課題については、専門性などを有している大学などとの連携協力により、高度な取り組みが必要となっています。</p>					
2. 令和2年度事業の内容					
<p>氷見市・名城大学農学部連携協議会を中心に、産学官の連携による農林水産業の振興、氷見高等学校と連携した研究・教育の活性化、生涯学習の推進、市民と名城大学農学部の学生との交流の促進などの取り組みを実施します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>協定等を締結した大学との取り組みをより強化、深化させ、地方創生のモデルとなるような取り組みに発展させて地域課題を解決します。</p>					
(単位: 万円)					
財源	国の負担	576	経費内訳	委託料	1,133
	基金繰入金	650		備品購入費	50
	市の負担	10		その他	53



名城大学農学部生のフィールドワーク

継続	ふるさと納税推進事業費	1億3,299万円			
		(前年度) 1億3,300万円			
担当課	商工振興課	電話番号 74-8105			
1. 本市の現状と課題					
<p>導入から13年目を迎えるふるさと納税制度は全国的にその活用が広がり、本市でも順調に寄附金額を伸ばしています。今後は、国が定めた特産品等の取り扱い基準を守りながら、継続して氷見市の魅力をPRするための情報発信を強化する必要があります。</p>					
2. 令和2年度事業の内容					
<p>ふるさと納税を通じて氷見の魅力をPRするため、返礼品をさらに充実させるとともに、ふるさと納税寄附窓口となるポータルサイト内の情報を充実いたします。また、これまで寄附いただいた方や、本市にゆかりのある方々に対して、引き続きご寄附をお寄せいただけるように、情報発信に努めます。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>寄附金額として2億5千万円を目指し、「豊かな自然・美しい景観の保全」や「観光・地域産業の振興」、「子どもたちの教育環境の充実」などに取り組みます。</p>					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	13,299	経費内訳	消耗品費	9,318
				役務費	3,972
				その他	9



春中ハンドの開催

④ 地域産業・中小企業の支援

継続 小口事業資金あつ旋融資事業費

5億1,485万円

(前年度) 5億1,485万円

担当課 商工振興課

電話番号 74-8105

1. 本市の現状と課題

市内の中小企業は地域の重要な雇用の場であるとともに、生産活動やサービスの提供を通して豊かな市民生活の実現に貢献していることから、その経営基盤の強化に向けた取り組みを進める必要があります。

2. 令和2年度事業の内容

金融機関等と連携して各種融資制度を実施し、市内中小企業の経営基盤の強化を促進します。
また、融資に係る保証料の一部を助成します。

3. 目標値または実施により求める効果

市内中小企業の経営基盤を強化します。

(単位:万円)

財源	雑入	51,255	経費内訳	貸付金	51,200
	市の負担	230		補助及び交付金	285



制度融資

継続 小規模企業団地運営事業費

181万円

(前年度) 174万円

担当課 商工振興課

電話番号 74-8105

1. 本市の現状と課題

地域の中小企業の活性化を図るためには、地域資源を有効に活用した地域内発型産業の創業を支援する必要があります。

2. 令和2年度事業の内容

創業希望者を支援するため、安い賃借料で事業スペース(ベンチャースペース氷見)を提供し、創業等に必要初期投資の軽減を図ります。

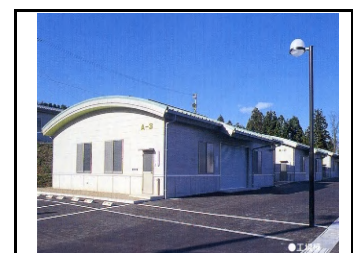
3. 目標値または実施により求める効果

利用しやすい施設の維持管理を行うとともに、公益財団法人新世紀産業機構と連携し、入居者へに対して経営サポートを行います。

・事務所棟 4件 ・工場棟 12件

(単位:万円)

財源	使用料	181	経費内訳	工事請負費	44
				光熱水費	38
				その他	99



ベンチャースペース氷見

④ 地域産業・中小企業の支援

継続 中小企業振興資金融資事業費

1億6,612万円

(前年度) 1億6,618万円

担当課 商工振興課

電話番号 74-8105

1. 本市の現状と課題

市内の中小企業は地域の重要な雇用の場であるとともに、生産活動やサービスの提供を通して豊かな市民生活の実現に貢献していることから、その経営基盤の強化に向けた取り組みを進める必要があります。

2. 令和2年度事業の内容

金融機関等と連携して各種融資制度を実施し、市内中小企業の経営基盤の強化を促進します。
また、融資に係る保証料を助成します。

3. 目標値または実施により求める効果

市内中小企業の経営基盤を強化します。

(単位:万円)

財源	雑入	16,521	経費内訳	貸付金	16,500
	市の負担	91		補助及び交付金	112



制度融資

拡充 創業支援事業費

2,210万円

(前年度) 1,510万円

担当課 商工振興課

電話番号 74-8105

1. 本市の現状と課題

商業統計によると、平成6年の市内の小売業の商店数は931件でしたが、平成26年には447件となり、20年の間に半分以下になりました。市内商工業の振興を図るには、小売業などの事業者数を増やす必要があります。

2. 令和2年度事業の内容

氷見まちづくり協議会と連携し、創業塾の開催や相談窓口の開設などにより創業のサポートを行います。
また、新規創業者や都市機能誘導区域内の空き店舗・空き家を活用して新規出店する事業者に対して、店舗改装費や備品購入費、情報発信に要する経費の一部を助成します。

3. 目標値または実施により求める効果

創業塾を開催し、新規創業者10名を目指します。

また、都市機能誘導区域内の空き店舗・空き家を活用した新規出店者6店舗を目指し、まちなかの賑わい創出や本市の商工業の振興を支援します。


(単位:万円)

財源	国の負担	600	経費内訳	補助及び交付金	2,200
	基金繰入金	1,600		負担金	10
	市の負担	10			



創業サポート窓口

④ 地域産業・中小企業の支援

継続	地域内経済循環促進事業費	340万円
		(前年度) 380万円
担当課	商工振興課	電話番号 74-8105
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>氷見商工会議所が実施している消費喚起事業「買活！ひみ6億円プロジェクト」で実施したアンケート結果では、市内での消費意識が向上しています。しかし、依然として、市外での支出(消費)金額が多い状況です。市内の中小企業の振興を図るためには、域内経済循環率を高める必要があります。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>市内での消費を拡大させ市内経済循環率を高めるために、氷見商工会議所が取り組む地域商品券「ひみキト商品券」事業の経費の一部を助成します。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>地域商品券利用による域内消費の促進により域内経済循環率を高めます。</p>		
(単位:万円)		
財源	市の負担	340
	経費内訳	補助及び交付金 340
		 <p>ひみキト商品券(イメージ)</p>

⑤ 中心市街地の活性化

拡充 まちなか活性化事業費

5,144万円

(前年度)

4,238万円

担当課 商工振興課

電話番号 74-8105

1. 本市の現状と課題

ひみ番屋街に多くの観光客が訪れているものの、中心市街地への流入が少なく、高齢化や後継者不足により廃業や空き店舗が増加し、そうした店舗や老朽化した家屋の取り壊しによる空き地が目立ち、商店街活動が衰退しています。

2. 令和2年度事業の内容

ビジネスサポートセンター「Himi-Biz(ヒミビズ)」を開設し、事業者の売上拡大に向けたアドバイス等を行います。また、エリアマネジメントを推進し、チャレンジショップスペースの整備や空き店舗情報を収集・発信して出店者の誘致に取り組むほか、観光客のまちなかへの流入を促進します。

3. 目標値または実施により求める効果

中心市街地の賑わい創出と地域経済の振興を目指します。

- ・まちなか新規出店者数 6件

(単位:万円)

財源	国の負担	2,572	経費内訳	負担金	5,144
	基金繰入金	2,570			
	市の負担	2			



ビジネスサポートセンタースタッフ